

令和5年度 第6回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和5年8月1日（火） 13時00分から15時00分まで

開催場所：A203-204会議室

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、原田総務部長、林企画部長、小倉リニア推進部長、牧島リニア駅周辺整備担当参事、橋本市民協働環境部長、田中ゼロカーボンシティ担当参事、林健康福祉部長、高山こども・子育て担当参事、清水産業経済部長、今産業経済部参事、井田建設部長、佐藤建設部参事、岡本危機管理部長、佐々木上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、北原会計管理者、和泉議会事務局長、秦野教育次長、佐々木財政課長、小室秘書課長、小椋南信州広域連合事務局次長、澤柳企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

＜市長＞

- ・7月中旬に現職の職員がお亡くなりになった。一緒に働く仲間として非常にショックだった。
- ・職場環境、勤務時間、超過勤務など職員の皆さんの状況を管理職は改めてチェックしなければいけない。部局等の長、課長の皆さんは自分の職場の職員の皆さんの心身の健康状態について、今一度気配り、目配りをする。特に最近是非常に暑い日が続いており、健康管理が難しい季節。それも含めて気配りをお願いしたい。
- ・関連して、夏休みをきちんと取れるように、仕事の調整をすることも課長にはお願いしたい。
- ・今週末から飯田人形劇フェスタや飯田りんごんが開催されるなど、8・9月には地域や市の行事が多くある。仕事として関わる方はもちろんだが、そうではない方も地域の行事に参加していただきたい。仕事ももちろん大事だが、地域の一員として、イベントに関わるということも大事。ぜひお願いしたい。
- ・本日午前中にゼロカーボンシティ推進本部会議があり、早速来年度のことを考え始めている。これから年度後半に向かってそういう時期になる。アンテナを高くし、広い視野で見ていると、応用できること、事業に上手く関連付けられる情報はたくさんある。参考になりそうなところは、ぜひ取り入れていただきたい。

＜副市長＞

- ・7月25日に野底山財産区で林業の現場を見てきた。架線集材という新しいやり方で材を集めていたが、人の確保が厳しいということで担い手の問題が話題になっている。いろんなところで担い手や後継者のことが挙げられるが、機械化やデジタル化するなど、補えるところはしっかり補いながらも、どうやって人を確保していくのか知恵を出し合い、1現場だけでなく、全体で考えていかないといけないと改めて感じた。今度の予算編成でもテーマの1つだと思っている。
- ・昨年の9月議会は、委員会で決算認定の説明が議員とうまく意思疎通できていない場面が多かった。特に事務事業進行管理表の指標など、思いもよらないところの増減を切り口にした議論があった。今度の委員会は新しい委員会体制になって初めての決算認定なので、事務事業の趣旨や狙いから説明に入っただき、全体像を掴んでいただくことも大事。準備をしておくこと。

＜教育長＞

- ・明後日から人形劇フェスタが始まる。今年の参加劇団数は267劇団。2019年331劇団だったため、2019年から比べると、若干少なくなっている。団員数や公演数はまだ2019年に追いついていないが、海外劇団は2019年と同じ8劇団。韓国から5つの劇団、台湾から3つの劇団にお越しいただく。部長の皆さんもワッペンを着用していただき、大変ありがたく思っている。できるだけ公演を見ていただければありがたい。
- ・本日新聞紙上でも、全国学力学習状況調査の結果が報道され、英語の学力の低下が課題とされていた。市の場合も昨年、一昨年は割と全国平均並みだったが、今年度は結果があまり良くない。どこの小中学校も教科も全国平均を若干下回る状況になっている。今年から小学2年生から中学2年生（小学1年生、小学校5年生、中学3年生を除く）に総合テストを行う。その結果をしっかり分析をして、学力向上の取組を進めている。

く。

2 報告事項

(1) 令和5年飯田市議会第3回定例会の付議案件について

◇趣旨

- ・令和5年飯田市議会第3回定例会の付議案件について報告する。

(2) 令和4年度決算の概要について

◇趣旨

- ・令和4年度決算の概要について報告する。

(3) 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の県協議及び第3回定例会への議案提出について

◇趣旨

- ・辺地に係る公共的施設の総合整備計画の県協議及び第3回定例会への議案提出について報告する。

(4) 令和4年度市税等の収納実績について

◇趣旨

- ・令和4年度市税等の収納実績について報告する。

◇意見

(市長)

- ・一貫して高い収納率を維持し、現場で頑張っている職員の皆さんに敬意を表したい。飯山市も収納率が高い。何か特徴的な取組があるのか。

(納税課長)

- ・国民健康保険税が高い。差し押さえ件数は多いと思うが、特に特徴的な取組はない。収納方法等も同じ。

(5) 長野県パートナーシップ届出制度導入に伴う飯田市の関連行政サービス対応について

◇趣旨

- ・長野県パートナーシップ届出制度導入に伴う飯田市の関連行政サービス対応について報告する。

◇意見

(市長)

- ・県のホームページに本日から公表しているのか確認しておくこと。
- ・明日の定例記者会見の際に、資料No.5-4の内容について質疑があった場合は、答えておく。
- ・総務委員会協議会ではどの資料を使うのか。本日の資料を使用するなら、精査する点がある。

(会計管理者)

- ・行政サービスの一覧に合致していない事業が見受けられるので、その点も精査をすべき。

(共生・協働推進課長)

- ・改めて精査して、資料を使用したい。

(議会事務局長)

- ・県の届出制度に伴う行政サービスを民間へ拡大していくという流れだと思うが、民間サービスに拡大していくために、5W1Hは県の中で議論されているのであれば、情報提供いただきたい。

(共生・協働推進課長)

- ・県からそこまで情報がない。今後確認をしていきたい。

(企画部長)

- ・議会へ提出する資料は、精査の後、別途起案すること。

(6) 飯田市第二期子育て応援プラン令和4年度実施状況の報告について

◇趣旨

- ・飯田市第二期子育て応援プラン令和4年度実施状況の報告について報告する。

◇意見

(市長)

- ・子育て家庭へアプリを使うなど工夫して情報を届ける事業については記載がないのか。

(子育て支援課長)

- ・主要な事業にはピックアップしていない。

(市長)

- ・子育てしやすいまちだと思うかどうかに関係するが、実際にやっていることが、必要な方に届いているかどうかは重要な視点である。そこをどのように自己評価したのか記載がない。

(子育て支援課長)

- ・子育て応援アプリにより、子育て中のパパやママに情報がしっかり届いているかは、今のところ登録者人数を追っているが、アプリ上でアンケートができる仕掛けがあるので、今後それを利用して、調査していきたい。

(市長)

- ・最初の総括の中で、届いていないところがあるのかないのかという考察や、事業をやっているがまだ足りない、もっと頑張ろうという点があってもいい。情報がなかなか届かないということを課題とし、届けようとしている。それが全体として功を奏しているのかいないのかという評価を記載すべき。
- ・アプリは1つの例示。実施状況の評価に対して、当時計画にのっていたものに縛られる必要はない。表をまとめるのに新しいものを追加するかどうかは分かれるところだが、例えば伝わっていないかもしれないという考察に対して、こういうことをやっているということは書いてあってもいい。取組として、努力していることは書けばいい。

(会計管理者)

- ・一部、誤解を招く可能性がある表現が見受けられるので、注意すること。

(教育次長)

- ・図書館の取組の記載について、一緒に検討させていただけるとありがたい。

(子育て支援課長)

- ・アプリも含めて整理をし、記載させていただく。

(企画部長)

- ・議会へ報告する案件となるので、関係部の皆さんは、内容の確認を再度お願いしたい。
- ・今まで取り組んできた内容、実績のあることはきちんと記載をすることが大切。行政評価で書いた成果と連動するように記載をお願いしたい。
- ・各部長の皆さんは修正点等あれば、担当課へご連絡いただきたい。

(7) 飯田市議会全員協議会（8/29）における報告事項について

◇趣旨

- ・飯田市議会全員協議会（8/29）における報告事項について報告する。

(8) 第3回定例会各委員会協議会報告事項について

◇趣旨

- ・第3回定例会各委員会協議会報告事項について報告する。

(企画部長)

- ・追加の報告事項があれば、次回の臨時部長会議でも報告可能。

3 その他、連絡事項

(企画部長)

- ・既に行政評価のステップ1で基本目標と小戦略を議会へご説明いただいた。今週末にステップ3で各分科会で選ばれた事務事業を議会へご説明いただく。事務事業の趣旨や狙い、小戦略や基本目標とどう結びついているのかという評価した部分をご説明いただきたい。説明の仕方は過日主管課長会議で説明をさせていただいた。再度説明をする課長にはご確認いただきたい。

4 閉会